

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護予防ケアマネジメント
------	--------------

現状と課題

本市においては、高齢化率が国平均を上回っているものの、要介護認定率が国平均よりも低く、比較的元気な高齢者が多いと考えられる。
しかしながら、今後、高齢化の進行が早まると予測されており、要介護認定者の増加も見込まれるため、要介護認定者であっても自立した生活を送れるよう、支援する専門職の対応力の向上が求められている。

第7期における具体的な取組

ケアマネジャーやサービス提供事業者等が、自立支援及び重度化防止に向けた介護予防ケアマネジメントを利用者に対して適切に提供できるように支援するため、地域ケア会議を定期的開催する。

地域ケア会議は自立支援型の開催とし、検討ケースを市内の居宅介護支援事業所から提出してもらい、当該ケースについて薬剤師や理学療法士等の専門家にアドバイスをいただくなどすることにより課題解決を図るとともに、他の居宅介護支援事業所にも会議を積極的に傍聴いただき、同様のケースに対する対応力を高めていただく。

目標（事業内容、指標等）

地域ケア会議の開催回数

平成 30（2018）年度	平成 31（2019）年度	平成 32（2020）年度
年 6 回以上実施	年 6 回以上実施	年 6 回以上実施

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
地域ケア会議の開催回数を計上。

※取組及び目標が複数ある場合は、それぞれについて作成してください。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	住民主体による介護予防事業の実施
-------------	-------------------------

現状と課題

高齢化の進展に伴い高齢者の介護予防に対する関心も年々高くなっており、介護予防教室や健康相談等への参加人数も増加傾向にある。
 このため、住民が主体的に取り組める介護予防事業を継続的に実施するとともに実施会場を増やし、高齢者が介護予防活動に参加できる機会を充実させる必要がある。

第7期における具体的な取組

本市では、「はつらつ運動教室」など、住民主体による運動教室の開催や普及に、従来から取り組んできた。
 住民が主体的に運動教室の開催や運営を行うことで、事業への参加がより積極的になり、さらなる介護予防効果が期待できるものと考えられる。
 参加者の自立状態の維持や、要介護状態への移行の防止を図るため、こうした住民主体の介護予防事業に引き続き取り組んでいく。

目標（事業内容、指標等）

はつらつ運動教室の実施会場数

平成 30（2018）年度	平成 31（2019）年度	平成 32（2020）年度
36 会場以上	37 会場以上	38 会場以上

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

はつらつ運動教室の実施会場数を計上。

※取組及び目標が複数ある場合は、それぞれについて作成してください。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	給付適正化事業の実施（要介護認定の適正化）
------	-----------------------

現状と課題

本市では、国が示す主要 5 事業を全て実施するなど、これまでも可能な限り給付適正化事業に取り組んできた。

第 7 期においても、人員配置等の課題はあるものの、これまでどおり給付適正化事業に取り組んでいく。

第 7 期における具体的な取組

認定調査票の全件について、点検を実施する。不備が認められた場合、その都度認定調査員に確認し、必要に応じて認定調査票を修正するとともに、認定調査の平準化を図る。

目標（事業内容、指標等）

認定調査票の点検件数

平成 30（2018）年度	平成 31（2019）年度	平成 32（2020）年度
全件	全件	全件

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ

- 評価の方法

認定調査票の点検件数・点検割合を計上。

※取組及び目標が複数ある場合は、それぞれについて作成してください。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	給付適正化事業の実施（ケアプランの点検）
------	----------------------

現状と課題

本市では、国が示す主要 5 事業を全て実施するなど、これまでも可能な限り給付適正化事業に取り組んできた。

第 7 期においても、人員配置等の課題はあるものの、これまでどおり給付適正化事業に取り組んでいく。

第 7 期における具体的な取組

利用者の重度化防止や自立支援に資する適切なケアプランが作成されているか、ケアプランの確認・点検を行う。疑義が生じた場合、担当ケアマネジャーに確認の上、助言などを行う。

目標（事業内容、指標等）

ケアプランの点検件数

平成 30（2018）年度	平成 31（2019）年度	平成 32（2020）年度
1 件	2 件	3 件

目標の評価方法

● 時点

中間見直しあり

実績評価のみ

● 評価の方法

ケアプランの点検件数を計上。

※取組及び目標が複数ある場合は、それぞれについて作成してください。